

表1-JIS Z 3223 現行規格と改正案との対比表

		現行JIS Z 3223:2000	改正案JIS Z 3223	
被覆アーク溶接棒の区分記号	被覆アーク溶接棒を示す記号	D	E	
	適用鋼種を示す記号	T	-----	
	溶着金属の機械的性質を示す記号	適用鋼種として規定	12 (490 MPa以上)	49 (引張強さ490 MPa以上)
			23の一部 (530 MPa以上)	52 (同上 520 MPa以上)
			23の一部, 24の一部, 及び25 (560 MPa以上)	55 (同上 550 MPa以上)
			-----	57 (同上 570 MPa以上)
			24の一部 (630 MPa以上), 26 (560 MPa以上)	62 (同上 620 MPa以上)
			-----	69 (同上 690 MPa以上)
	被覆剤の種類を示す記号 (被覆剤の系統, 溶接姿勢及び電流の種類を含む)	-----	-----	10 (高セルロース系, 全姿勢, DCEP)
		-----	-----	11 (高セルロース系, 全姿勢, AC及び/又はDCEP)
		13 (高酸化チタン系, 全姿勢, AC又はDCEN)	13 (高酸化チタン系, 全姿勢, AC及び/又は {DCEP及びDCEN})	
		15 (低水素系, 全姿勢, DCEP)	15 (低水素系, 全姿勢, DCEP)	
		16 (低水素系, 全姿勢, AC又はDCEP)	16 (低水素系, 全姿勢, AC及び/又はDCEP)	
		18 (鉄粉低水素系, 全姿勢, AC又はDCEP)	18 (鉄粉低水素系, PGを除く全姿勢, AC及び/又はDCEP)	
		-----	19 (イルミナイト系, 全姿勢, AC及び/又は {DCEP及びDCEN})	
		-----	20 (酸化鉄系, 下向・水平すみ肉, AC及び/又はDCEN)	
	-----	27 (鉄粉酸化鉄系, 下向・水平すみ肉, AC及び/又はDCEN)		
	溶着金属の化学成分を示す記号	適用鋼種と被覆剤の系統の組み合わせで規定	1216	1M3 (相当するAWS A5.5 → A1)
			-----	CM (同上 B1)
			-----	CIM (同上 B5)
231,323,162,318			1CM (同上 B2)	
2315			1CML (同上 B2L)	
241,324,162,418			2C1M (同上 B3)	
2415			2C1ML (同上 B3L)	
-----			2CML (同上 B4L)	
-----			2CMWV	
-----			2CMWV-Ni	
-----			2C1MV	
-----			3C1MV	
2516			5CM (同上 B6)	
-----			5CML (同上 B6L)	
2616			9C1M (同上 B8)	
-----			9C1ML (同上 B8L)	
-----			9C1MV (同上 B9)	
-----			9C1MV1	
-----	9CMWV-Co			
-----	9CMWV-Cu			
-----	10C1MV			
-----	G			
溶着金属の水素量の記号	規定なし	H5 H10 H15 記号なしの場合は規定しない		
熱処理	規定あり	溶着金属の化学成分が旧JISと対応するものは, 旧JISと同等。		
すみ肉溶接試験	規定なし	規定あり		
曲げ試験	規定あり	規定なし		
引張試験の試験片形状	標点距離 4D	標点距離 5D		
注記 この対応表では, 代表的な対応を記載したが, 新旧JISで区分の仕方などが異なるため, すべての被覆アーク溶接棒が必ずしもこのとおりに対応せず, 例外あり。				